

# ヒツサツ<sup>®</sup>

## 1キロ粒剤

速く、鋭く、抜かりなく。



- ホタルイに対する効果をさらに強化
- 水稲に対する高い安全性（田植同時処理可能）
- SU抵抗性雑草や多年生雑草に対する高い効果

ノビエ・ホタルイ・クログワイ\*・コナギ・ミスアオイ等への鋭い効果



本剤は(公財)日本植物調節剤研究協会でのA-1S区分:難防除雑草一発処理(クログワイ)で判定を取得しています。



ノビエ



ホタルイ



クログワイ



コナギ



ミスアオイ

\* 移植水稲

# 水稲用初・中期一発処理除草剤

# ヒツサツ<sup>®</sup> 1キロ粒剤

- ホタルイに対する効果をさらに強化
- 水稲に対する高い安全性(田植同時処理可能)
- SU抵抗性雑草や多年生雑草に対する高い効果

[有効成分] イマズスルフロン…0.90% ピラクロニル…2.0% ブロモブチド…15.0% 除草剤分類 2, 14, 30



## 適用と使用方法

農林水産省登録 第24807号

## 主要雑草に対する使用適期

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、 ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、 ウリカワ、クログワイ、 ヒルムシロ、セリ、 アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植時	1kg/10a	1回	田植同時散布機 で施用
		移植直後～ ノビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで			渾水散布
直播水稲	一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、 ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、 ウリカワ、ヒルムシロ、セリ、 アオミドロ・藻類による 表層はく離	稲1葉期～ ノビエ2.5葉期 ただし、 収穫90日前まで			

ホタルイ ヘラオモダカ ウリカワ	2葉期まで
ミズガヤツリ	草丈15cmまで
ヒルムシロ	発生期まで
クログワイ	発生始期まで
セリ	再生期まで
アオミドロ・ 藻類による 表層はく離	発生前まで

イマズスルフロンを含む農薬の総使用回数	2回以内	ピラクロニルを含む農薬の総使用回数	2回以内	ブロモブチドを含む農薬の総使用回数	2回以内
---------------------	------	-------------------	------	-------------------	------

上記の内容はすべて2024年9月現在の登録内容

## 上手な使い方 [ 散布量/10a当り1kg (1袋) ]

<b>均平化作業・植付けはていねいに!</b> 田面が凹凸していると薬剤が均一に広がらず、効果不良・薬害の原因になることがあります。 	<b>移植深度は適正に!</b> 極端な浅植では根が露出し薬害原因となります。根が土壌中に隠れるよう、適正な移植深度に田植機を設定してください。 	<b>散布時の注意!</b> 散布の際は、水の出入りを止めて渾水状態(水深3~5cm)で散布してください。また、極端な浅水や深水での使用はさけてください。 	<b>散布後の注意!</b> 散布3~4日間はそのまま渾水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。 
---	---	--	---

## 使用上の注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに、時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布してください。
- 散布の際は、水の出入りを止めて渾水状態(水深3~5cm)で、まきむらが生じないように均一に散布してください。また、極端な浅水や深水での使用はさけてください。
- 散布後3~4日間はそのまま渾水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化及び植付作業はていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
  - ① 砂質土壌の水田および漏水の大きな水田(減水深が2cm/日以上)
  - ② 軟弱な苗を移植した水田
  - ③ 極端な浅植えの水田
- 稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので使用はさけてください。
- 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用してください。
- 散布田の田面水を他の作物に灌水しないでください。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用するには十分に注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手術を受けてください。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。 ●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

06R9124H30:J2

2024年9月作成

農業・肥料に関する  
総合情報サイト【i-農力】や  
各種SNSはこちら



# 住友化学

〒103-6020 東京都中央区日本橋2丁目7番1号